

狭山市立柏原小学校 ICT 授業実践例

1 ジャンル

小学校2年生

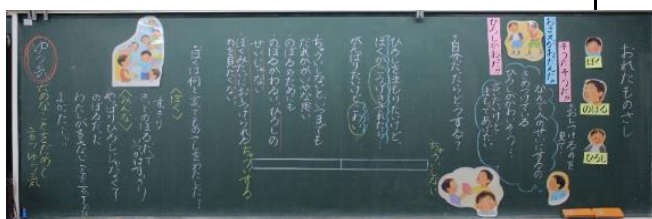
道徳

C1 発表や話し合い

児童生徒

2 概要

SKYメニューのポジショニング機能を使って、主人公の立場だったら自分はどうするかということを考えさせた。また、友達がどの場所にポジショニングしたかを見せ、誰に意見を聞いてみたいかを問い、自分とは違う考えの意見を交流した。



単元(題材)名

「おれたものさし」

単元(題材)目標

活用したICT機器、アプリケーション等

SKYメニューポジショニング

本時のめあて

本時の展開の概要

友達がおったものさしを別の友達に押し付けている場面を主人公が目撃し、これまでの経験から迷いながらも勇気を出して友達を注意するという話。教材文を途中まで読み、この後主人公はどうしたのかなと問い、「自分が主人公だったらどうする?」と聞き、ポジショニングをさせた。

写真・記録



ICT機器の活用でねらった効果

これまで黑板上でネームプレートを動かす心のものさしを使っていたが、それに代わるものとしてポジショニング機能を活用した。席を立てずに、友達の考えに左右されずに自分の考えを持つことをねらった。

児童生徒の様子(成果や課題)

自分の考えの通りにポイントを動かしたり、友達の意見を聞いて少しずつ変わったりと、考えの変容も見られた。ただ、操作に夢中で深く考えられたかと問われると、GI GA端末を使わない方がよく考えているように感じる。慣れ親しんでいくことも必要だが、効果的な場面で有効的に使えるかを精査していく必要もあると感じた。

狭山市立柏原小学校 名前: